

プロミュージシャン科シラバス

科目名	アンサンブルレッスン(ゴスペルアンサンブル)	担当教員名	池末 信
単位時間	60(4単位)	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	EN431		
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
<small>世界を代表するミュージシャンの多くが基礎に置く、ニグロスピリチュアル(黒人聖歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。</small>			
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	
2	演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	
3	演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	
4	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
5	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
6	演習	3曲新曲、選択理論ワーク	
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習	
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク	
13	演習	新曲レクチャー	
14	演習	パフォーマンスワークショップ	
15	演習	パフォーマンスワークショップ	
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる		

プロミュージシャン科シラバス

科目名	アンサンブルレッスン(ゴスペルアンサンブル)		担当教員名	池末 信
単位時間	60(4単位)	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	EN431
授業の到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
<small>世界を代表するミュージシャンの多くが基礎に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。</small>				
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)、NLPワーク、新曲2曲レクチャー		
2	演習	ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲		
3	演習	ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス		
4	演習	コンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
5	演習	コンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
6	演習	コンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)3曲新曲、選択理論ワーク		
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習		
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク		
13	演習	新曲レクチャー		
14	演習	パフォーマンスワークショップ		
15	演習	パフォーマンスワークショップ		
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる」			

プロミュージシャン科シラバス

科目名	アンサンブルレッスン(ワーキングスキルゼミアンサンブル)		担当教員名	浜崎州平
単位時間	60(4単位)	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	EN232
授業の到達目標	1.世界、業界標準のレパートリー曲の取得 2.用語、マナー等 必要な知識の取得 3.楽曲の理解力現場への対応力の向上			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する アンサンブルを通じて現場で実際に起こりうる課題をクリアする為のスキル、知識、マナーを学び経験値を積む。また、これからの時代に必要とされるスキルを備えたミュージシャンの、育成。			
【実務経験】1997年ベースプレイヤーとして活動を開始。プロデューサー、作編曲家としても活動しメジャー、インディーズ問わず多くの作品に参加。アーティストプロデュース、CM音楽、舞台作品、映像音楽等に多岐にわたるプロジェクトに参加				
日程	授業形態	内容		
1週目	演習	アンサンブルエクササイズを通して軸を考える		
2週目	演習	レパートリーを交えリズムアンサンブルをさらに強化する		
3週目	演習	キメやブレイクなどリズム的な変化に挑戦		
4週目	演習	パートごとの役割を考える		
5週目	演習	コーラスセクションからハーモニーを考える		
6週目	演習	楽器、コーラスパートのアンサンブルを考える		
7週目	演習	リードボーカルとのアンサンブルを考える		
8週目	演習	それぞれのソロパフォーマンスを考える		
9週目	演習	リズム、コードのアイデアからアレンジメントにアプローチ		
10週目	演習	楽曲を理解し更なるアレンジメントを考える		
11週目	演習	実践的なアレンジメントを考える		
12週目	演習	ショーアップを意識する		
13週目	演習	ライブ形式での実戦で結果を出す		
14週目	演習	ライブワークショップ・振り返り		
15週目	演習	ライブワークショップ・振り返り		
準備学習 時間外学習	コード、スケールの確認。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	Bass Groove Analyze(滋慶出版オリジナル教材)、他		
	参考書			
学生への メッセージ	実戦的なセッションを通じ出来るだけ多くの経験をしましょう！			

プロミュージシャン科シラバス

科目名	アンサンブルレッスン(ワーキングスキルゼミアンサンブル)		担当教員名	浜崎州平
単位時間	60(4単位)	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	EN232
授業の到達目標	1.世界、業界標準のレパトリー曲の取得 2.用語、マナー等 必要な知識の取得 3.楽曲の理解力現場への対応力の向上			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する アンサンブルを通じて現場で実際に起こりうる課題をクリアする為のスキル、知識、マナーを学び経験値を積む。また、これからの時代に必要とされるスキルを備えたミュージシャンの、育成。			
【実務経験】1997年ベースプレイヤーとして活動を開始。プロデューサー、作編曲家としても活動しメジャー、インディーズ問わず多くの作品に参加。アーティストプロデュース、CM音楽、舞台作品、映像音楽等に多岐にわたるプロジェクトに参加				
日程	授業形態	内容		
1週目	演習	アンサンブルエクササイズとレパートリーアンサンブル		
2週目	演習	リズムアンサンブルをさらに強化する		
3週目	演習	リズムアンサンブルを通じたキメやブレイクなどリズム的な変化に挑戦		
4週目	演習	パートごとの役割を考えるアレンジメント		
5週目	演習	コーラスセクションからハーモニーを考える		
6週目	演習	楽器、コーラスパートのアンサンブルを考える		
7週目	演習	リードボーカルとのアンサンブルを考える		
8週目	演習	それぞれのソロパフォーマンスを考える		
9週目	演習	リズム、コードのアイデアからアレンジメントにアプローチ		
10週目	演習	楽曲を理解し更なるアレンジメントを考える		
11週目	演習	実践的なアレンジメントを考える		
12週目	演習	ショーアップを意識する		
13週目	演習	ライブ形式での実戦で結果を出す		
14週目	演習	ライブワークショップ・振り返り		
15週目	演習	ライブワークショップ・振り返り		
準備学習 時間外学習	コード、スケールの確認。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	Bass Groove Analyze(滋慶出版オリジナル教材)、他		
	参考書			
学生への メッセージ	実戦的なセッションを通じ出来るだけ多くの経験をしましょう！			